日本産業技術史学会2017年度第2回理事会議事録

日時：2017年10月3日（火）　14：00～16:30

場所：東京大学法文2号館3階第三会議室

出席者：堀尾尚志、鈴木淳、田中一郎、橋本毅彦、廣田義人

委任状：天野雅敏、藤原惠洋

欠席：山田大隆、石村眞一、麓和善

議事案件

1. 日本産業技術史学会賞規定の改定について

堀尾理事から、持ち回り理事会で立案された学会賞規定改定案・新旧対照表について、確認がなされ、原案を以下のように修正した。

第7条　・・・学会々員の内より学会理事会が選任した3名「で構成する審査委員会で合議のうえ、受賞者を決定する。なお、必要に応じ他学会の会員を審査委員会に加えることができる。」

　第8条　・・・編集委員(冊子版及び電子版)による投票「にもとづき、編集委員会が決定する。」申し合わせ事項として、編集委員の投票結果を踏まえ、編集委員の過半数の賛成で決定する。

1. 会誌(冊子版)の刊行について

堀尾理事から、思文閣出版の会誌編集・販売辞退の申し出について説明があり、善後策を検討した。以下のとおり、申し合わせた。

* 冊子体の発行は継続する。
* 編集作業を軽減するため次のようなことを検討した。①末尾注とする　②表、グラフのサンプルを入れ、ポイントを示し厳守を求める　③表・グラフの挿入に伴う段組み(行の途中での折り返し)は行わない。これらの徹底を図るため詳細な投稿規定を作成する。なお、当面の投稿については、テンプレートに合わせた原稿作成を投稿者に求める。
* 上記を踏まえたサンプルをもとに、作業の分担等を印刷会社と相談する(1月中)。
* 会誌担当幹事を新たに設ける。
* 編集、印刷、販売について他の出版社に当たってみることも選択肢とする。

　次回理事会にて、投稿規定案を決定する。

なお、上記会誌担当幹事の新設と合わせ、他の業務についても担当監事の新設を検討する。

報告その他

1. 本会運営の状況(財務)について

廣田理事から資料に基づき、2017年度の現在までの収支状況について、特別な出費はなく、平常的な支出であるとの説明があった。会費納入状況については、会員136名のうち、2017年度まで完納80名、1年未納32名、2ないし3年の滞納16名、4年以上の滞納8名との説明があった。6年以上の滞納者については今年度の督促に応じなければ除籍することを申し合わせた。

1. 本会運営の状況(会員の動向等)について

堀尾理事より資料に基づいて、会員数は141名で、2015年度名簿刊行以降、新入会14名、退会11名、死去1名、除籍2名との説明があった。

1. 会誌(冊子版)の編集及び発行予定について

田中理事より、21巻2号について、現在、論文3本掲載可、1本再査読中で、年会テーマセッション報告が揃い次第、今年中に刊行予定との説明があった。

1. 来年度年会の開催について

堀尾理事より来年度開催校神奈川大学の内田青蔵実行委員長との打ち合わせに基づき、日程は6月16-17日、23-24日、30-7月1日のいずれかで開催校の都合に合わせる、理事会を年会前日に開催する、テーマセッションは開催校にて立案する、見学会は横浜周辺で実施する、講演申込み締切りは3月末日とする、11月1日発行予定のさんぱく86に掲載するとの説明があった。講演者と講演概要は4月中旬発行のさんぱく87に掲載する。